



ノルウェー国会前で(12月9日)



京都の職人さん手作りの銅製の折り鶴を寄贈(12月10日)



ガザの青年と「戦争も核もない世界」を、あきらめずともに頑張ろうと語り合いました(12月11日)

# さあ!! 核兵器のない 地球へ

## 参加した4人による報告と討論

京都の多くの市民から寄せられた派遣カンパによって、花垣ルミさんをノルウェー・オスロでのノーベル平和賞授賞式ツアーに送ることができました。被爆80年の2025年は大きな節目。ノーベル平和賞受賞を跳躍台に、日本政府が核兵器禁止条約にサインするような大きな運動を、みなさんと一緒にくり広げたいと思います。

**3月23日(日)午後1時30分～4時30分**  
(午後1時開場)

**キャンパスプラザ京都** 4階 第3講義室

### 1部開会午後1時30分

#### ●講演

## 「核兵器 禁止から廃絶へ」

川崎 哲さん

(核兵器廃絶国際キャンペーン〈ICAN〉国際運営委員兼会長)

#### ●報告

### ①「核兵器も戦争もだめ!! ツアー報告」

花垣 ルミさん

(京都原水爆被災者懇談会世話人代表)

### 2部開会午後3時00分

### ②「核兵器廃絶運動と非同盟運動」

小林 立雄さん

(被爆二世、宮城県原水協理事)

### ③「核兵器に対する視点を変えるための声を」

林田光弘さん

(被爆三世、元高校生平和大使)

#### ●4人の意見交換

参加費は無料です

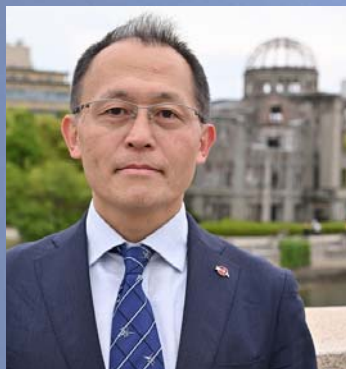
### 主催●花垣ルミさんをノーベル平和賞授賞式に送る会

【参加団体】京都総評、京都府生活協同組合連合会、核兵器廃絶ネットワーク京都、アボリション2000京都、京都宗教者平和協議会、日本科学者会議京都支部、平和友の会、原水爆禁止京都協議会、京都原水爆被災者懇談会、京都被爆二世・三世の会、非核の政府を求める京都の会、反核京都医師の会/IPPNW京都府支部、原発ゼロをめざす左京の会(順不同)

後援●コンシューマーズ京都、京都生活協同組合、京都YMCA、京都YWCA

【連絡先】非核の政府を求める京都の会

tel. 075-771-0729 E-mail : hikaku-kyoto@nifty.com



### 講演●川崎 哲(かわさき あきら)

ピースボート共同代表。2017年のノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN)」の国際運営委員兼会長。核兵器廃絶日本NGO連絡会の共同代表として、NGO間の連携および政府との対話促進に尽力。一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」専務理事。ピースボートでは地球大学プログラムや「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」をコーディネート。立教大学兼任講師。日本平和学会理事。著書に『核兵器 禁止から廃絶へ』(岩波ブックレット、2021)、『僕の仕事は、世界を平和にすること。』(旬報社、2023)、『戦争ではなく平和の準備を』(共編著、地平社、2024)、『核兵器はなくせる』(岩波ジュニア新書、2018)など。2021年、第33回谷本清平和賞受賞。1968年東京生まれ、東京大学法学部卒。



### 報告①花垣ルミ(はながき るみ)

1940年3月25日大阪市生まれ(京都市在住)。5歳の時、爆心地から1.7kmの疎開していた叔母の家で被爆。逃避途上の悲惨な状況と人間を茶毘にふす強烈な臭いで失神し、記憶を失うも58年後に記憶が戻り、「被爆者として生きる」ことを決断。「語り部」として国内100か所以上で被爆の実相を語り、海外では2010年、2015年の訪米時に活動。2010年オハイオ州では一般家庭やハイスクールなど10か所で行う。現在、京都原水爆被災者懇談会世話人代表、非核の政府を求める京都の会共同代表、被爆者証言の世界化ネットワーク(NET-GTAS)顧問。



### 報告②小林立雄(こばやし たつお)

被爆二世、1948年生まれ。京都被爆二世三世の会会員、宮城県AALA事務局長、日本科学者会議原子力問題委員。江田島の海軍兵学校の教員だった父親が、原爆投下直後に広島市内に救護のために入市。学生は救援に行かず非番の教員が行ったとのこと。「防空壕の入り口には、中にいた人は熱くて外に出ようとし、外の方は熱くて中に入ろうとしたらしく、人が折り重なっていた」と父親は語っていた。大学、大学院で物理学を研究し、原爆と原発がコインの裏表であることを理解。「放射線は生命と相いれないこと」を解明し、「科学の到達を判断の基準とすべき」と考え、核兵器と原発の廃止を求めて運動を展開している。



### 報告③林田光弘(はやしだ みつひろ)

被爆三世、長崎・浦上に生まれ育つ。中学3年の時に核兵器のない世界を求める高校生一万人署名活動に参加して以来、平和活動を続けている。核兵器をなくす日本キャンペーン長崎コーディネーター、一般社団法人Peace Education Lab Nagasaki代表理事。2016~2020年ヒバクシャ国際署名のキャンペーンリーダー。2021~2023年度長崎大学核兵器廃絶研究センター特任研究員として「被爆前の日常アーカイブ」を作成。2023年、ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会作成のデジタルアーカイブ「NO MORE HIROSHIMA NAGASAKI MUSEUM」を作成。2024年、「地球市民フェス」の総合プロデューサーを務める。



### 司会進行●倉本芽美(くらもと めみ)

2002年生まれ、広島県出身。立命館大学国際関係学部3年。2022年10月から学生団体「KNOW NUKES TOKYO」共同代表。2023年6月から「議員ウォッチ」に所属し、核兵器廃絶めざし市民との対話イベント

や政治家との面会を行う。2023年9月から「立命館大学国際平和ミュージアム」学生スタッフ。2024年5月から「核兵器をなくす日本キャンペーン」インターンとして、NPT会議中継など現場からの情報発信を担当。



### 司会進行●寺島拓人(てらしま たくと)

1987年生まれ。民青同盟京都府委員会委員長。立命館大学文学部卒。学生時代は自治会運動に参加し学費運動を中心に取り組みつつ、毎年の原水爆禁止世界大会に参加。2008年、文学部自治会委員長として平和委員会を再建し、12月8日

の不戦のつどいに併せて学部ラウンジにパネル展示を行う。2009年の不戦のつどいでは、学友会中央常任委員長として参加し、「二度とペンを銃に持ち替えない」と決意を語った。